

公立幼稚園及び公立保育所再編整備実施計画 【第1期修正】(その2)(案) へのパブリックコメント実施結果

(1) 募集期間 令和2年2月25日(水)～令和2年3月19日(木)

(2) 意見の提出者数 1人

● 受付区分

郵送	FAX	電子メール	直接提出	合計
0人	0人	1人	0人	1人

● 居住区分

柏原地区	堅下地区	堅上地区	国分地区	市外
0人	0人	0人	1人	0人

(3) 意見内容と市の考え方

No.	意見内容	意見に対する市の考え方
1	国分幼稚園の耐震診断の結果は大変重要だが、市で公立施設のこども園化は初めてなので、まずはたまたま認定こども園の状況を参考にしつつ、慎重に考えていくべきではないか。	国分幼稚園の園舎の耐震改修について、①国分幼稚園園舎の耐震改修を行った場合に、工事期間中の園児の保育場所の確保が難しいこと、②老朽化した国分幼稚園園舎を耐震補強することの費用対効果の検証が必要であること、さらに、③園児の安全性を確保するための早急な対応が求められています。 これらのことから、平成28年にお示ししていた国分幼稚園と国分保育所との統合を進めていくことを検討し、国分幼稚園園児の保護者からもご意見をいただきながら、最終的に令和3年4月から(仮称)こくぶ認定こども園とすることに決定したものです。
2	廃園後の施設の活用方法は、保護者や園、園に関わり今でも大切に想って下さっている方々などの地域住民の意見も聞いて検討していただきたい。	幼稚園閉園後の活用方法については、現在のところ未定です。 市全体で有効的な活用方法を検討していきます。

No.	意見内容	意見に対する市の考え方
3	<p>こども園化について周知不足だと感じた。</p> <p>統合するもう一方の保育所の保護者は知らなかったり、卒園され今でも大切に想っている方々や地域住民も知らないうちに進んでいる。</p>	<p>ご意見の説明会等については第1期修正計画による「(仮称) たまた認定こども園」のお話かと存じます。</p> <p>玉手幼稚園では、2年連続で就園児数が教育委員会が定める基準の15名を下回ったことから、休級について検討をいたしました。保護者の皆様から玉手地区での幼児教育の存続についての要望があったこと等を受け、円明保育所との統合による認定こども園化によって教育環境を確保することを提案したものです。</p> <p>認定こども園化により直接影響を受ける在園児や就園予定児の保護者の皆様については、説明会を実施し、また円明保育所の保護者についても文書配布により周知を行いました。</p> <p>今回いただきました周知不足とのご意見を真摯に受け止め、今後も認定こども園についての情報の周知に努めてまいります。</p> <p>令和3年度の認定こども園の開園に向けて、アンケート調査を予定しています。</p> <p>市ウェブサイトでは、「認定こども園」に関する情報を随時更新しておりますので是非ご覧ください。</p> <p>http://www.city.kashiwara.osaka.jp/docs/2017112400015/</p>
4	<p>もともと機能が違う物を一つにするだけでも大変混乱するはずなのに、保育理念を合わせ教育保育の共通理解を図るのは並大抵の事ではないと思う。</p> <p>保育の質が落ちる事のないよう、どうか安心して預ける事のできる施設にして下さい！</p>	<p>幼稚園と保育所は、それぞれ法律上は異なる目的を持った施設ですが、両施設とも就学前の子どもを対象としており、実態としてはかなり類似した機能が求められていると考えます。</p> <p>また、柏原市では、どの施設においても柏原市教育・保育カリキュラムに基づく幼児教育・保育が提供できるよう、市内の民間園も含めた幼稚園教諭・保育士らが研究会を実施して交流を深めています。</p> <p>柏原市の就学前教育・保育に携わる全員が、子どもたちにとっての最善の利益の確保という同じ目的を持って教育・保育を提供し、課題があればそれらを共に解決しながら、保護者が安心して子どもたちを預けられる施設となるよう努めて参ります。</p>